

# 2021年3月期 第3四半期 決算補足資料

2021年2月9日

【免責事項】

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。



**GIGA PRIZE**

Smart Life with Us

テクノロジーで暮らしをゆたかに

# 2021年3月期 第3四半期について

---

連結売上高

**11,487** 百万円

前年同期比 **+20.9 %**

連結営業利益

**1,564** 百万円

前年同期比 **+122.1 %**

ISPサービス導入戸数

**69.5** 万戸

前期末比 **+23.2 %**

# 連結業績サマリ 前年同期比較

単位：百万円	2021年3月期 3Q実績	2020年3月期 3Q実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	11,487	9,499	1,988	20.9%
営業利益	1,564	704	860	122.1%
経常利益	1,551	664	887	133.5%
親会社株主に 帰属する当期純利益	993	329	664	201.5%

## 2021年3月期 第3四半期の累計業績は、前年同期比 売上高 20.9%増、営業利益 122.1%増

売上高は、HomeIT事業におけるランニング売上の積み上げ、イニシャル売上及び代理店手数料の増加により増収。営業利益は、集合住宅向けISP事業の拡大及び第2四半期連結累計期間において連結子会社であった株式会社フォーメンバーズを連結の範囲から除外したこと等により、前年同期に比べ大幅増益。

### ■ 売上高

HomeIT事業の集合住宅向けISP事業について、ランニング売上、イニシャル売上、代理店手数料増加等により増収。また、既存物件への「SPES」導入等、提供戸数拡大に注力した結果、今期計画 13.0万戸に対して、13.1万戸（進捗率 100.8%）と今期計画を達成。

**2020年3月期末比 131,072戸増 累計 695,898戸**

### ■ 営業利益

HomeIT事業の集合住宅向けISP事業について、ランニング売上の積み上げ、イニシャル売上及び代理店手数料の増加等による増収と、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業活動の一部自粛やテレワークの実施等による販管費の減少もあり、セグメント利益 2,679百万円（前年同期セグメント利益 1,965百万円）で着地。

不動産事業について、株式会社フォーメンバーズの連結範囲からの除外（前年同期は△264百万円）、社宅管理代行サービス及びVR住宅展示場の拡大に注力したことによりセグメント損失 132百万円（前年同期セグメント損失 343百万円）で大幅に改善。

# 連結業績予想の修正について

単位：百万円	2021年3月期 修正予想値	2021年3月期 前回発表予想値	増減額	増減率	2020年3月期 通期実績
売上高	15,471	15,443	28	0.2%	13,649
営業利益	2,050	1,575	475	30.2%	1,235
経常利益	2,008	1,529	479	31.4%	1,198
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,271	993	279	28.1%	512

2021年3月期 通期の業績は、前回発表予想値比 売上高 0.2%増、営業利益 30.2%増、経常利益 31.4%増、純利益 28.1%増で着地する見込み。

## ■ 売上高

売上高につきまして、不動産事業において、第2四半期連結会計期間に株式会社フォーメンバーズを連結の範囲から除外したことにより計画を下回る見込みだが、集合住宅向けISP事業における一部大手包括提携先の建設工事の中断及び営業エリア縮小等の影響を受けたものの、テレワークの拡大等により、同サービスの提供戸数が大きく伸長し、イニシャル売上及びランニング売上がともに上回る見込み。

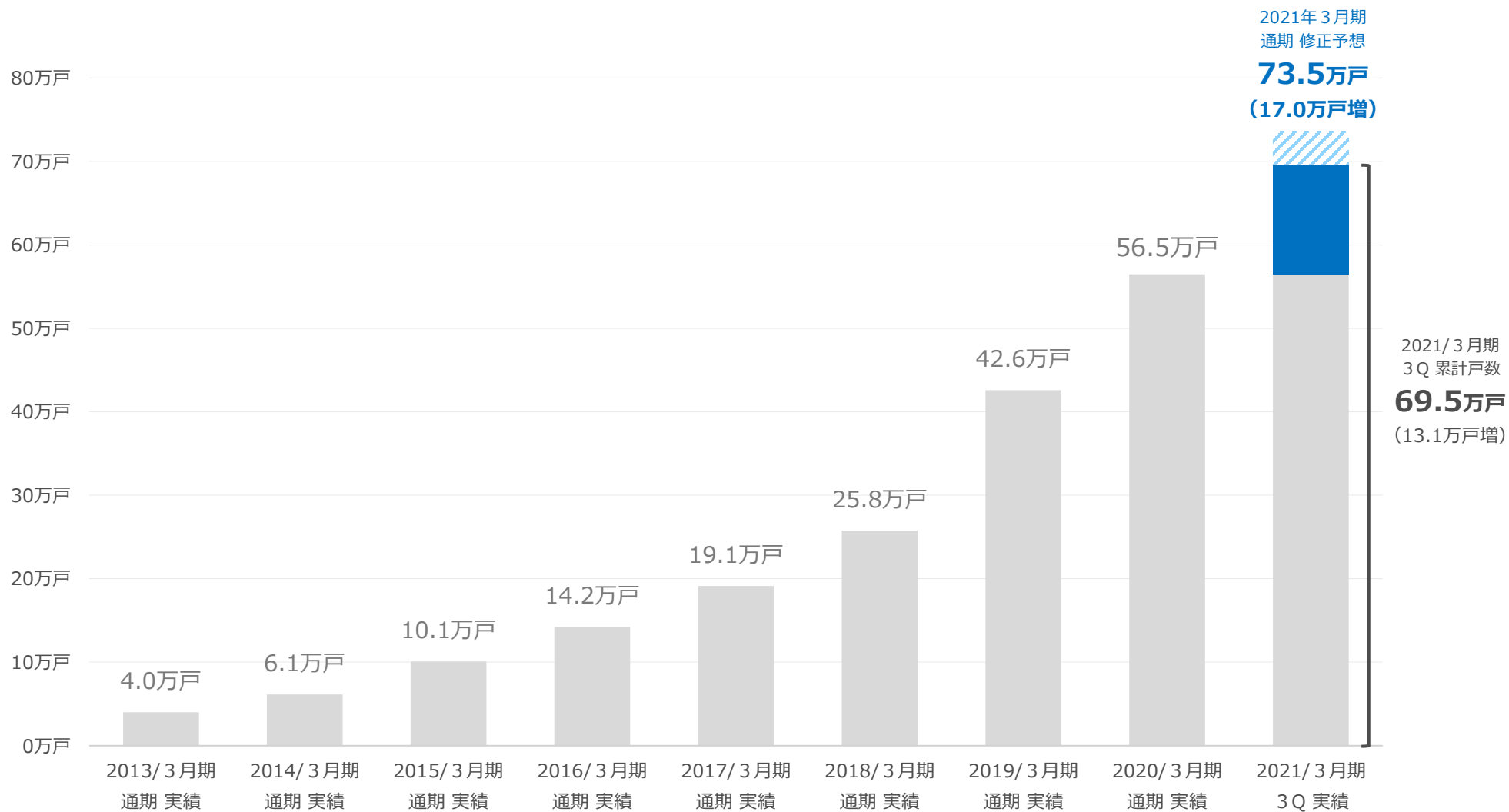
**2020年3月期末比 17.0 万戸増（前期 13.9 万戸増） 累計 73.5 万戸**

## ■ 営業利益、経常利益、当期純利益

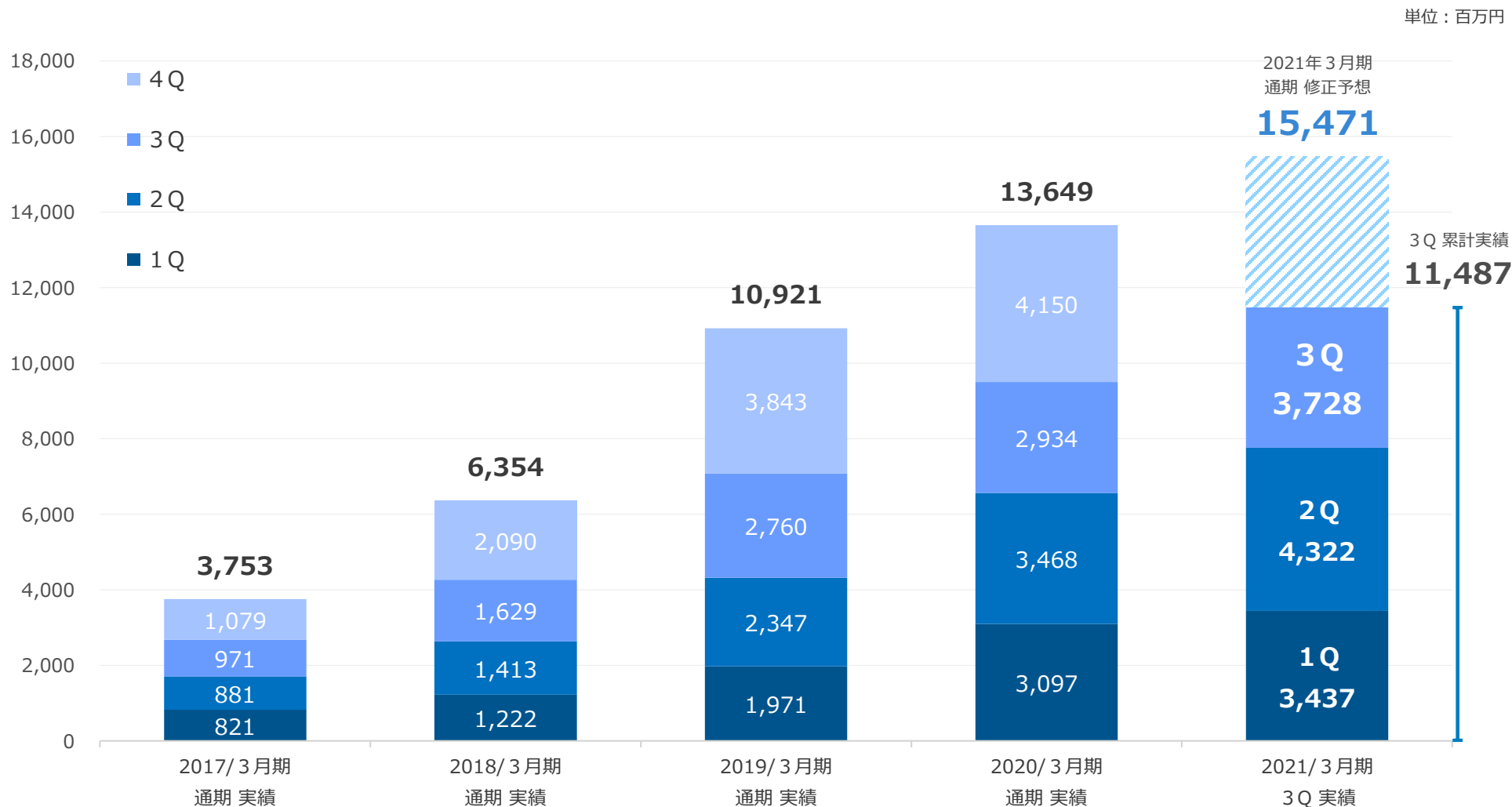
営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきまして、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言期間中、営業自粛やテレワーク実施等による販売費及び一般管理費の減少に加え、第2四半期連結会計期間において株式会社フォーメンバーズを連結の範囲から除外したこと等により前回発表予想数値を上回る見込み。

# 集合住宅向けISP事業 サービス提供戸数 修正予想

当期末の累計提供戸数は、期初予想 69.4万戸から 4.0万戸増の 73.5万戸となる見込み  
 当期の新規サービス提供戸数は、前期比 122.7%増の 17.0万戸（前期実績 13.9万戸）

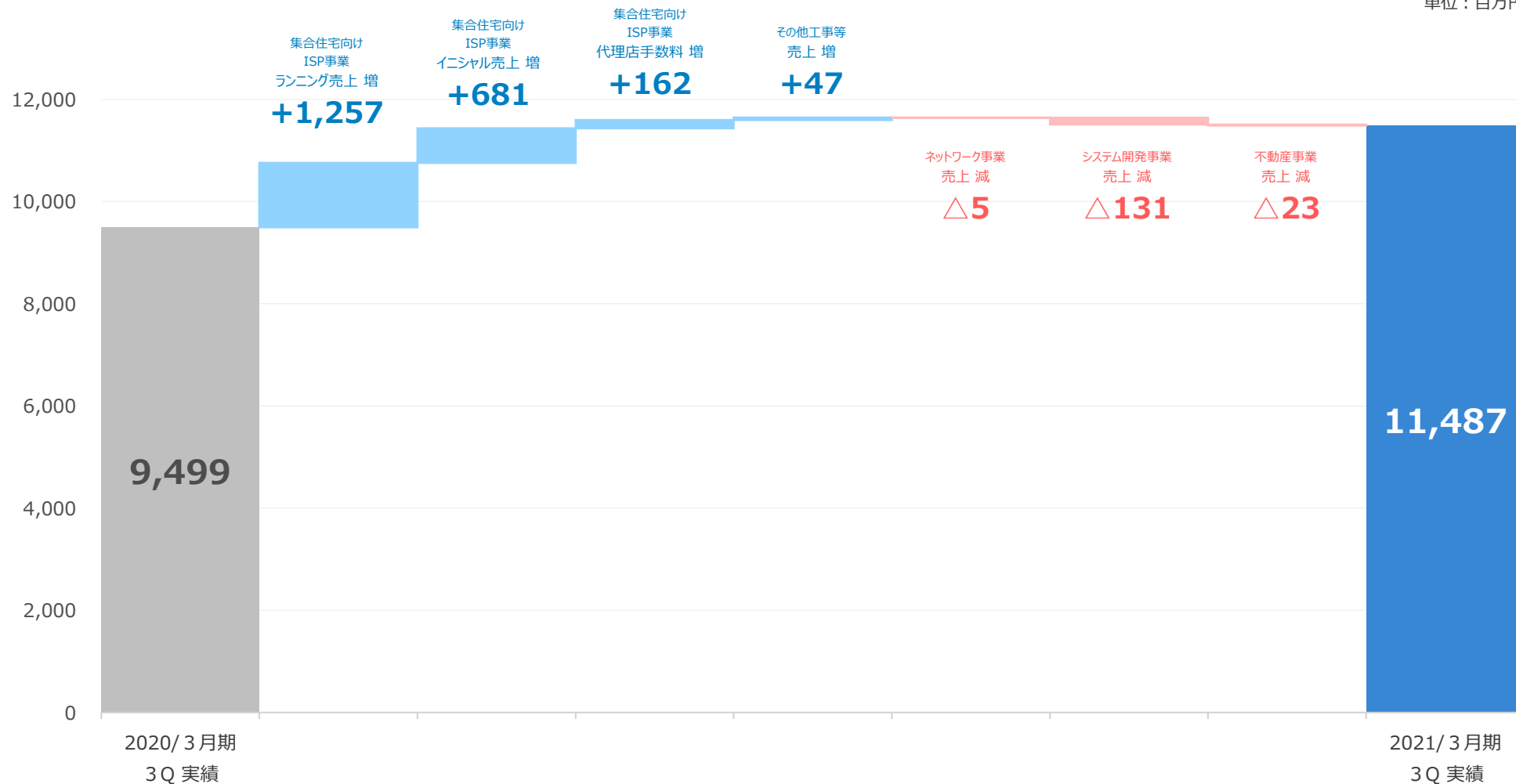


## コロナ禍における事業への影響を最小限に抑えるべく、取り組みを強化した結果、増収



## ランニング売上の積上げ及びイニシャル売上、代理店手数料ともに増加し、前年同期比 20.9%増

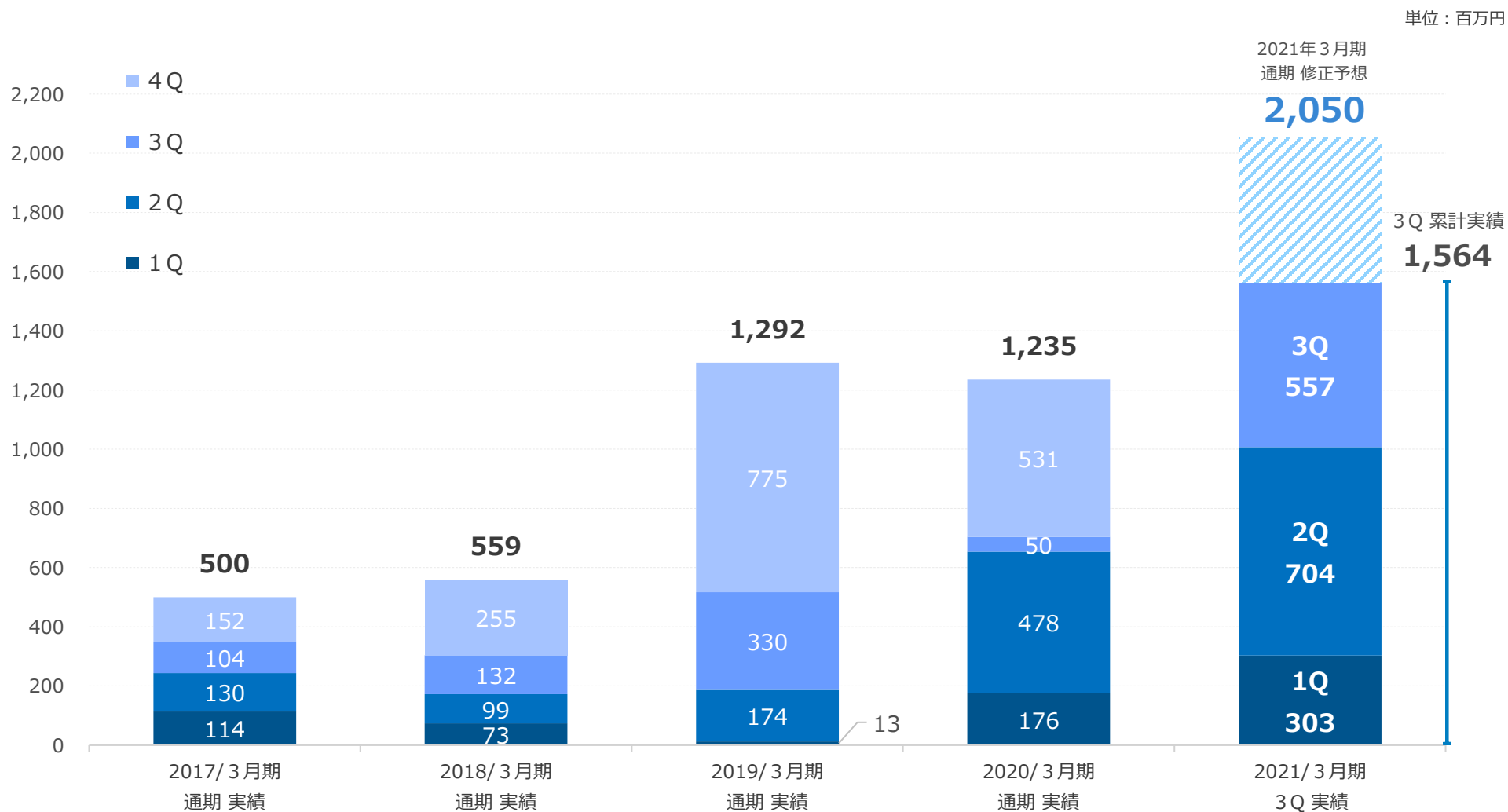
単位：百万円





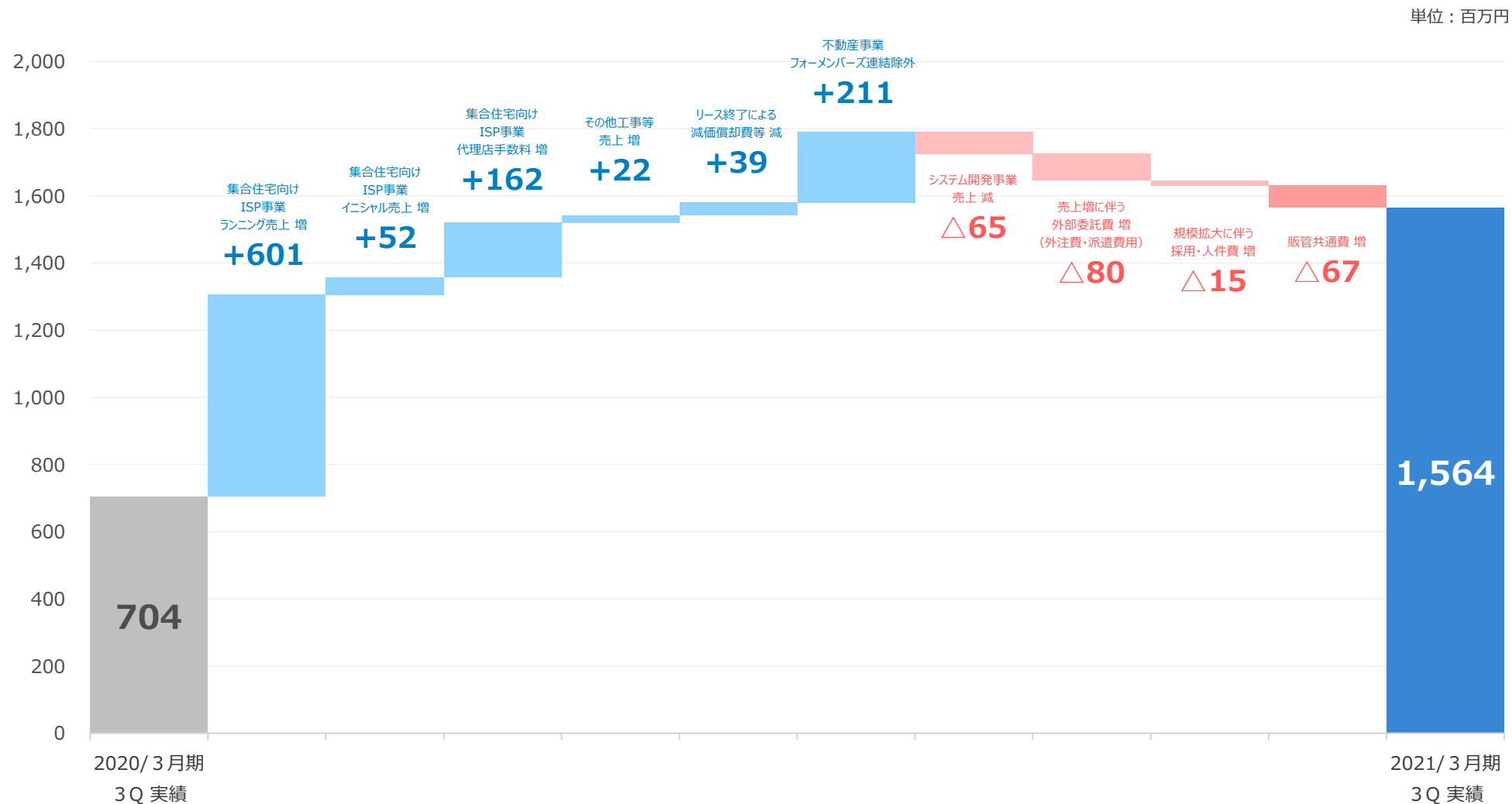
# 連結営業利益推移（四半期別）

HomeIT事業の売上高の増加に加え、2Qにおける子会社の連結除外もあり、大幅増益



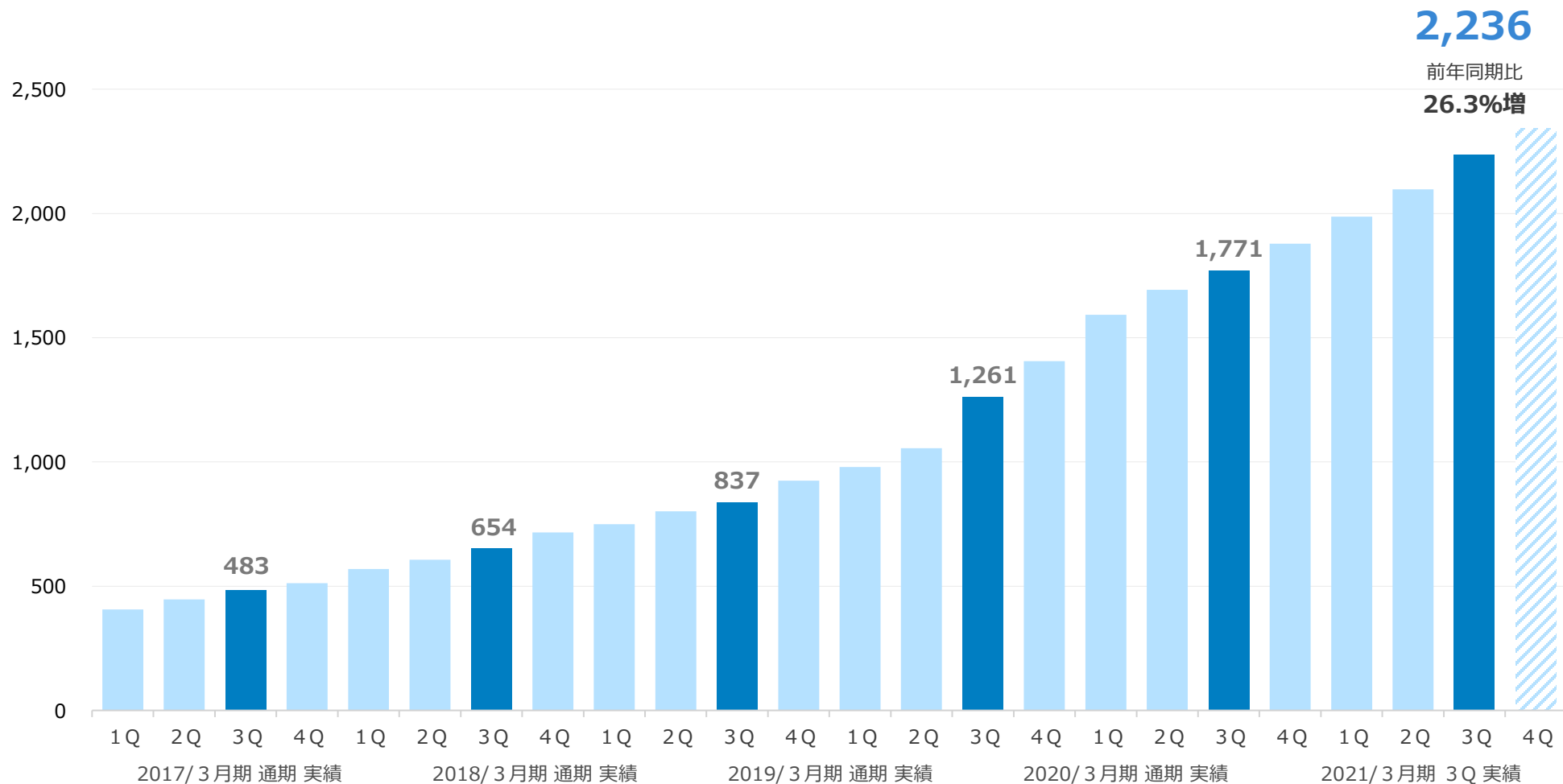
# 連結営業利益 前年同期比較

収益基盤であるランニング売上の積み上げが大きく寄与し、前年同期比 122.1%増と大幅増益



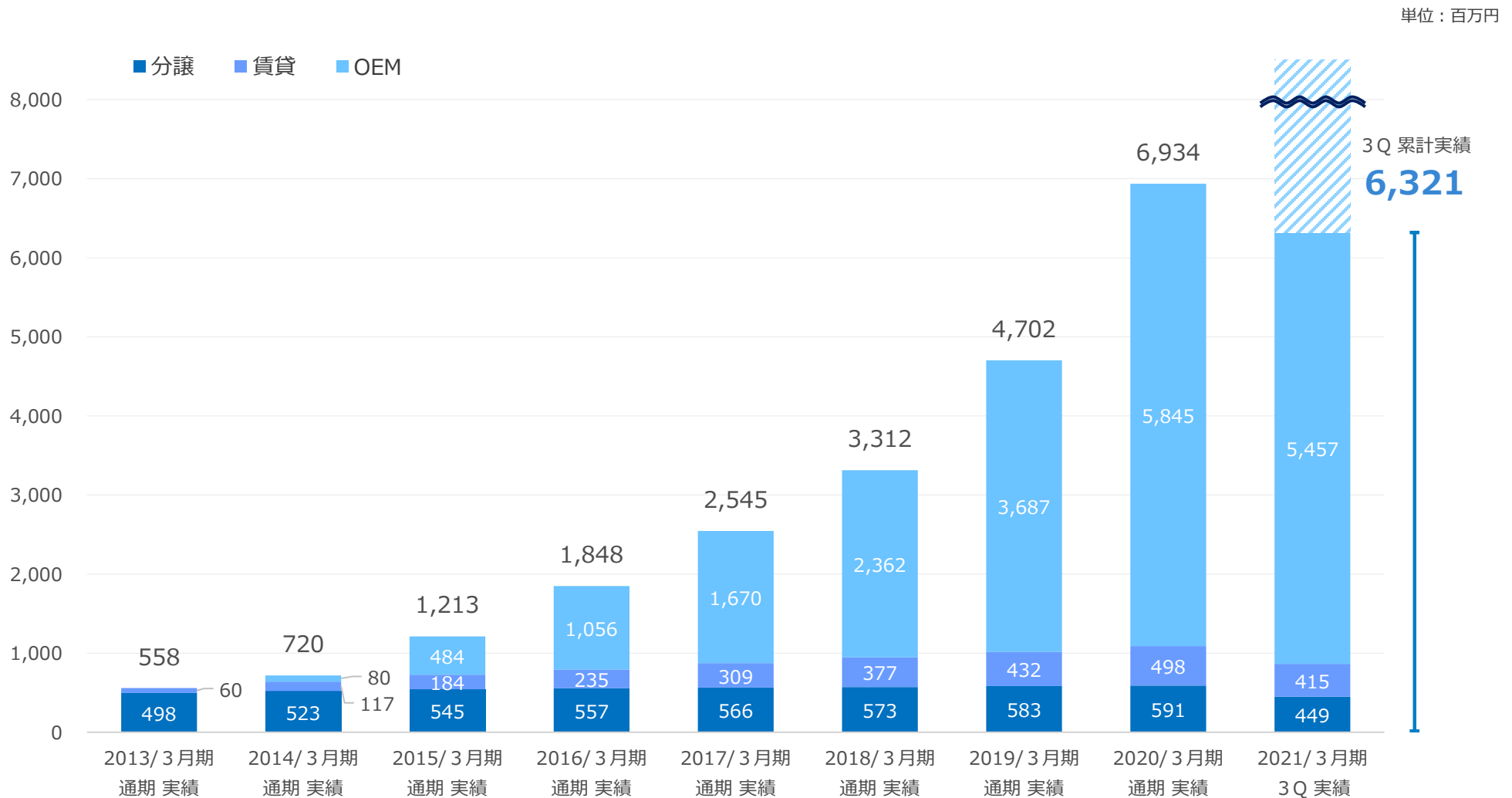
ランニング売上は、前年同期比 26.3%増  
収益基盤の最大化に向けて、集合住宅向けISPサービスの提供戸数拡大を図る

単位：百万円



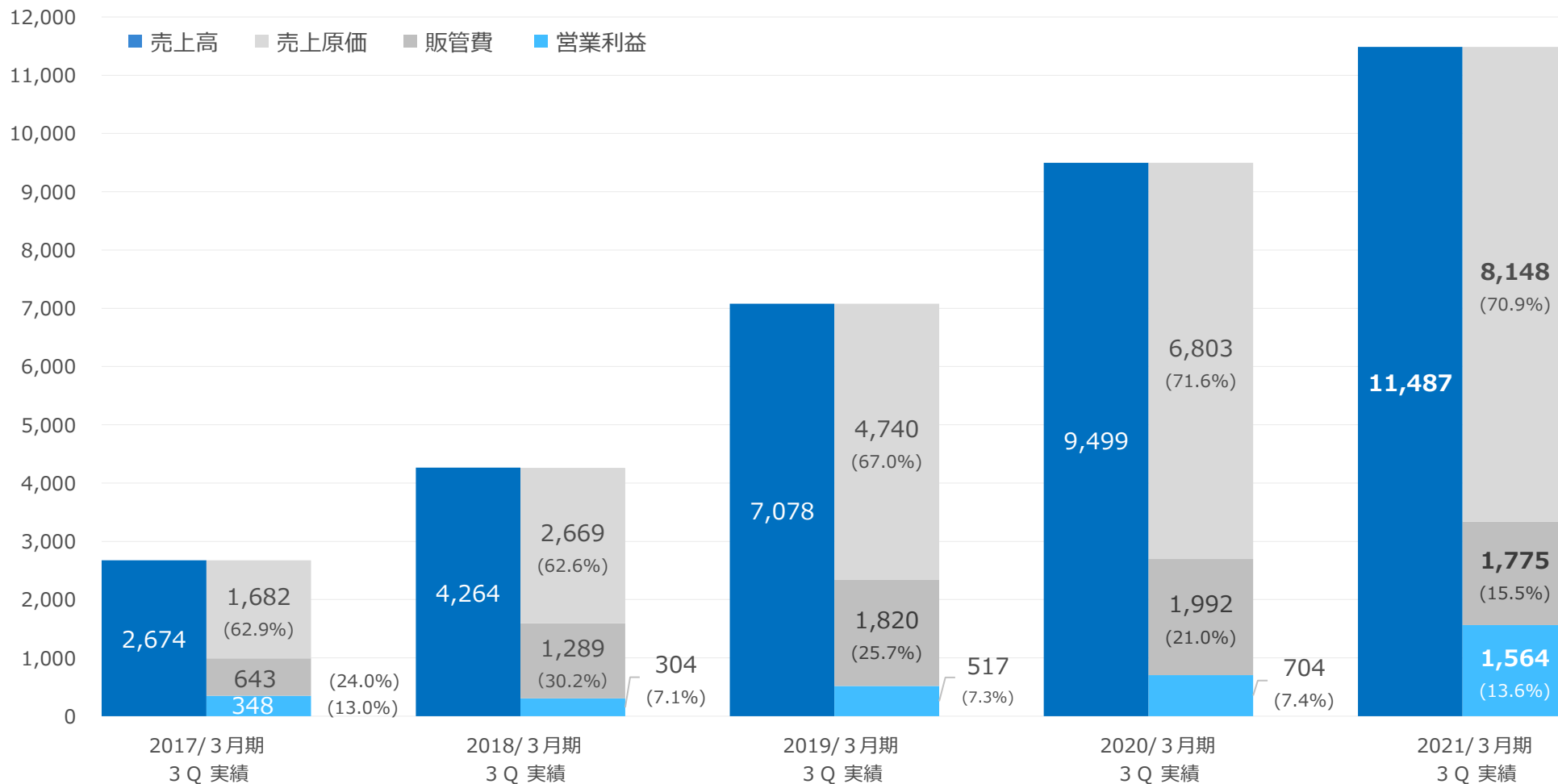
# 集合住宅向けISP事業 ランニング売上推移（カテゴリー別）

カテゴリー別のランニング売上は、OEM提供がコロナ禍においても好調、分譲・賃貸向けサービスも堅調に推移



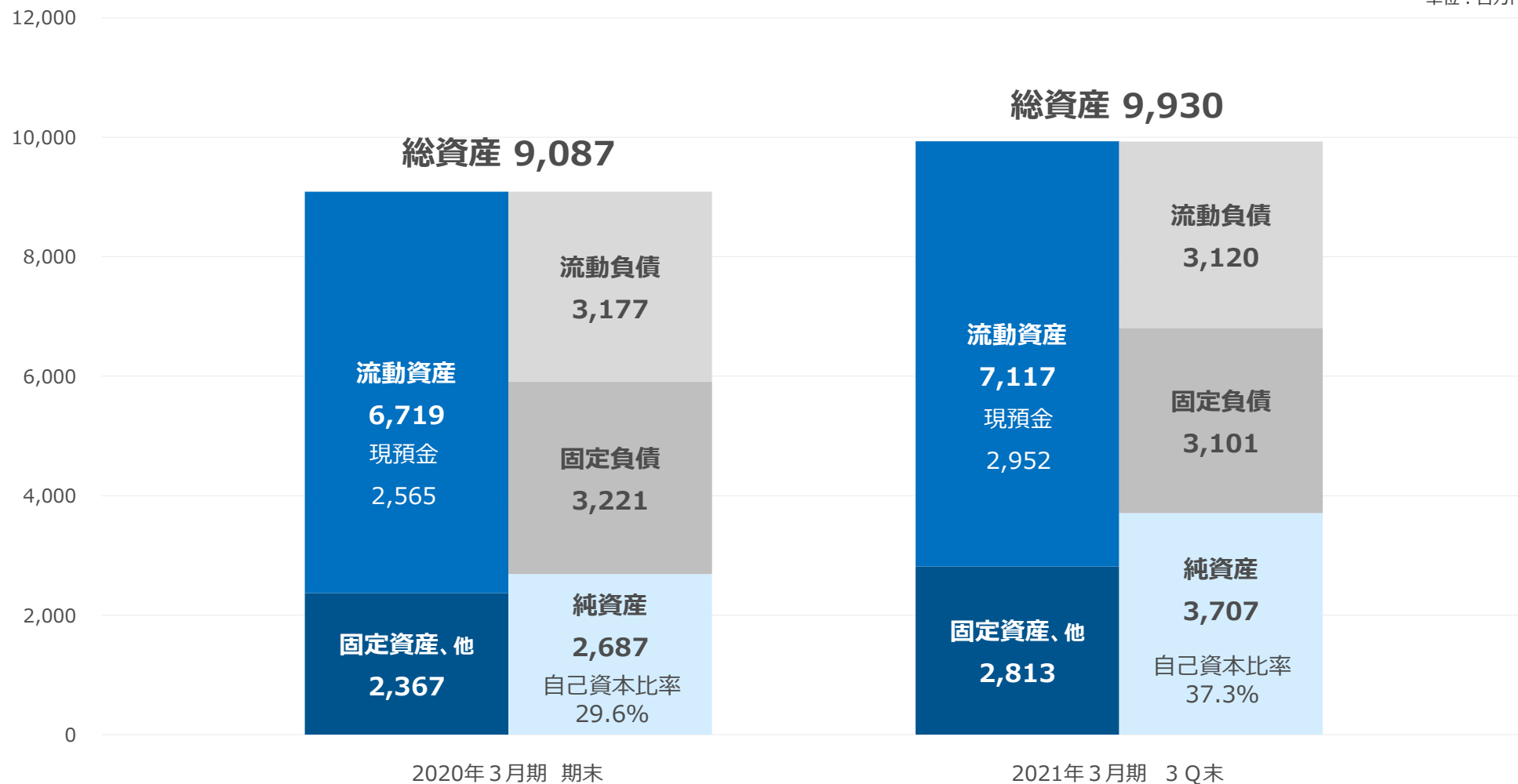
## 集合住宅向けISP事業の拡大、営業自粛等による販管費の減少等もあり、売上高及び営業利益増

単位：百万円



前連結会計年度末比、総資産 9.2%増。自己資本比率 7.7ポイント増加

単位：百万円



## 開示事項・トピックス

---

# 開示事項 業績予想の修正に関するお知らせ

## 【業績予想の修正に関するお知らせ】

最近の業績動向を踏まえ、2020年6月19日公表の2021年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしました。

詳細につきましては、本日（2021年2月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### ■ 業績予想の修正について

2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,443	百万円 1,575	百万円 1,529	百万円 993	円 銭 66.02
今回発表予想 (B)	15,471	2,050	2,008	1,271	84.59
増減額 (B-A)	28	475	479	279	—
増減率 (%)	0.2	30.2	31.4	28.1	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	13,649	1,235	1,198	512	34.07



# トピックス ① 集合住宅を取得、サービス検証スペースとして運用開始

## 【都内に集合住宅を取得、サービス検証スペースとして運用開始】

当社は進化するテクノロジーに対応する技術を検証し、サービスの利便性向上を図ることを目的として、都内に集合住宅を取得し、居室の一室をサービス検証スペースとして運用開始いたしました。自社物件内の本サービス検証スペースを活用し、今後も快適なインターネット環境およびサービスをご提供するため、新たな付加価値を創出してまいります。

### ■ 実用的で利便性の高い新たなサービスの構築のために

当社は、創業以来、集合住宅向けISPサービスを中心に、不動産業界向けのトータルITソリューションを提供してまいりました。2017年からは「不動産Techのリーディングカンパニーへ」というビジョンの下、従来の提供サービスに加え、IoTハブ、スマートロック等の住まいを取り巻く様々なニーズに合致したサービスを創出し、積極的に事業拡大に取り組んでまいりました。また、2020年からは持続的成長に向けた新たなビジョン「テクノロジーで不動産事業に新たな付加価値を創造する企業へ」を掲げております。

多様化するニーズ、ライフスタイルに適したインターネット環境やサービスの向上が求められる傾向が益々高まる中、当社がこれまで培ってきた確かなネットワーク構築技術力とセキュリティ、新たな技術やアイデアを利用することで、先進的で快適なこれからの住環境の提供を目指します。



### ■ 実証中の当社サービスの一例

PWINS



SPES



GIGA PG  
GIGA Privacy Code



クラウド型防犯カメラ



宅内HUB



## トピックス ② 「2020年日本テクノロジー Fast 50」で 24 位を受賞

### 【2年連続受賞 デロイトトーマツ主催「2020年日本テクノロジー Fast 50」で 24 位】

当社は、デロイト トーマツ グループが発表した業界の収益（売上高）に基づく成長率のランキング「デロイト トウシュ トーマツ リミテッド 2020年 日本テクノロジー Fast 50」において、過去3決算期の収益（売上高）に基づく成長率114.8%を記録し、50位中24位を受賞いたしました。なお、昨年の19位に続き、2年連続の受賞となります。

# 50

Technology **Fast 50**  
2020 Japan

#### ■ 日本テクノロジー Fast 50

日本テクノロジー Fast 50 は、デロイト トウシュ トーマツ リミテッドが世界 約40カ国及び北米・欧州・アジア太平洋地域の3地域ごとに実施しているランキングプログラムの日本版です。TMT 業界での成長性や成功のベンチマークであり、今回で 18 回目の開催です。上場・未上場企業を問わず TMT 業界に含まれる企業からの応募をもとに、過去 3 決算期の収益（売上高）成長率の上位 50 社がランキングされます。

#### ■ 参考

##### ● テクノロジー Fast 50

<http://www.deloitte.com/jp/fast50>

##### ● テクノロジー企業成長率ランキング「デロイト トウシュ トーマツ リミテッド 2020年日本テクノロジー Fast 50」発表

<https://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/about-deloitte/articles/news-releases/nr20201210.html?nc=1>

## トピックス ③ 埼玉エリアVR住宅展示場 4 店舗出展

### 【埼玉エリアにVR住宅展示場 4 店舗を出展】

当社は、株式会社エイトノットアンドカンパニー、ナーブ株式会社との協業により、「イオンモール浦和美園」、「イオンモール北戸田」、「イオンレイクタウンkaze」、「イオンモール与野」の4モールの「イオンハウジング VR住宅展示場 ここから家づくり」内に、出展企業5社の最新のモデルハウスを12月15日（火）に出展。

12月19日（土）より、専任コンシェルジュによる有人案内サービスを開始いたしました。

#### ■ 不動産分野での新たなサービスの共創

「イオンハウジング VR住宅展示場 ここから家づくり」を通じて、当社、株式会社エイトノットアンドカンパニー、ナーブ株式会社は、お客さまに気軽に様々なモデルハウスを体感いただき、時間的効率を高めながら、より多くの情報提供を可能にするだけでなく、住宅展示場の見学に関する環境の変化や課題を解消し、住宅展示場運営の新たなソリューションを実現するべく各社の事業特性を融合し、イオンモール店内へのVR住宅展示場の展開を拡大してまいります。

#### ■ 出展企業（五十音順）

